

1 各主体の役割

計画を推進するために、市民、体育協会、スポーツ団体、行政(市)等が互いに連携し合い、以下に提言するそれぞれの役割を理解し、取り組むことが必要です。

(1) 市民

スポーツや運動をすることによる健康づくりや生きがいなどの効果を認識するとともに、自身のライフステージや体力、特性を踏まえて、適した楽しみ方を見つけ、主体的にスポーツに関わることが期待されます。これまでスポーツを行っていない市民には、気軽に実施、参加できるものを見つけながら、身体を動かすことを習慣にしていくことを求めます。

現在、スポーツを行っている市民は、今後も継続的に活動していくとともに、より一層スポーツの楽しさを深め、広げながら、人や地域とのつながりを築くことを求めます。

(2) 体育協会・スポーツ団体

福生市体育協会や総合型地域スポーツクラブ等、今後も本市のスポーツ推進の担い手として、分かりやすくスポーツの楽しさを伝えることにより、市民のスポーツを始めるきっかけづくりや活動の継続に貢献することを求めます。

また、市や学校、民間事業者などと良好な連携を図りながら、市民のスポーツ参加機会の拡充を図ることを求めます。

(3) 学校

子どもたちの心身の健康を育む場づくりを行うことにより、運動やスポーツが好きな子どもを増やし、体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯にわたりスポーツに親しむきっかけづくりを推進することを求めます。

そのため、家庭や地域と協働で取り組みながら、市や国などが推進する運動やスポーツに触れる機会を積極的に提供することが期待されます。

(4) 関係機関

健康づくり推進委員等の市民団体や指定管理者をはじめとする事業者、幼稚園、保育園、大学等の各団体等と連携して、あらゆる市民がスポーツに親しむことができるようスポーツ環境の充実や情報共有を図ることが期待されます。

(5) スポーツ推進委員

多くの市民にスポーツを楽しんでもらうため、市やスポーツ団体と連携し、スポーツに関する指導・助言を行います。

また、市民に身近な立場であることから、市民と市を結ぶコーディネーターとしての役割を担います。

(6) スポーツ推進審議会

本計画の策定に関わるとともに、体系化した施策及び取組の進捗状況を把握し、評価に関する審議を行います。

(7) 行政(市)

本計画の運動・スポーツに関する総合的な計画策定及び推進、管理を行うとともに、市民がよりよくスポーツに取り組むことができるように、スポーツに親しむための機会提供やスポーツ施設等の環境整備を行います。

また、スポーツ団体、学校、スポーツ推進委員等と連携し、それらの団体が主体的にスポーツ推進事業を行えるように支援します。



2 評価と見直し

市のスポーツ施策の推進には、各施策展開について、実効性を確保するための進行管理を行う必要があります。各施策に関して、「計画(Plan)」、「実行(Do)」、「点検・評価(Check)」、「見直し(Action)」のPDCAサイクルを繰り返し行うことで、取組の実効性を確保します。

(1) 計画の進行管理

計画の見直しの際には、それまでの取組や成果、市民アンケート、各関係者等へのヒアリング調査などをもとに、総合的に分析・評価し、次期計画に向けた検討を行います。

(2) 取組の進行管理

毎年度、施策ごとの各取組について、実施主体が実績をもとに自己評価を行い、「スポーツ推進審議会」が確認・点検を行います。

